

「そらシリーズ」はなぜ多収なのか？（1）

$$\text{収量} = \text{節の数} \times \text{節あたり莢数} \times \text{莢あたり粒数} \times \text{百粒重}$$

品種	特性（対標準品種）
そらひびき	節の数が少ない。 節あたり莢数、莢あたり粒数多。
そらみずき そらたかく	節の数が多い、節あたり莢数、莢あたり粒数多。
そらみのり	莢あたり粒数多 、百粒重は標準品種並み。

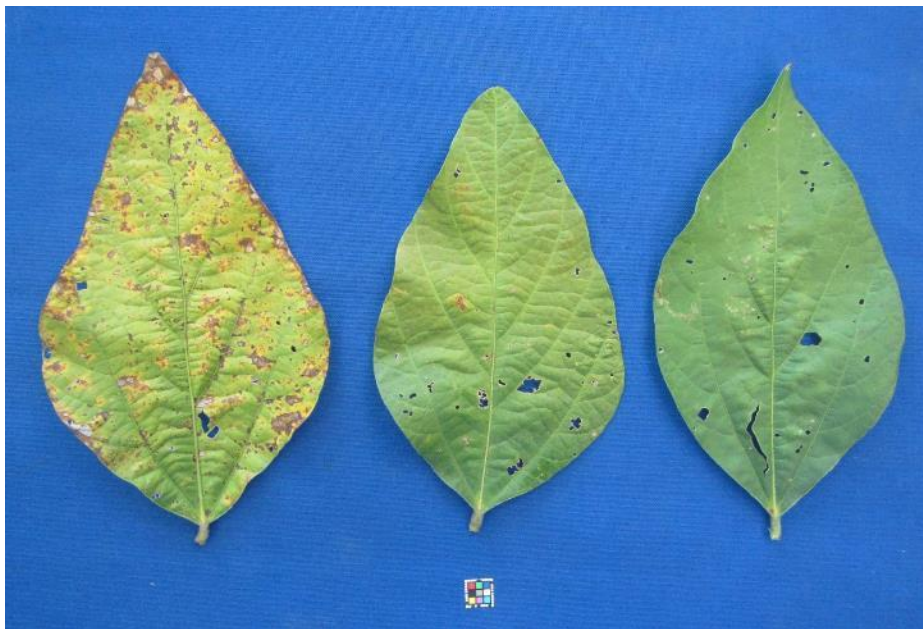


各品種によって、多収を実現するメカニズムは異なる
→ **さらなる多収化が可能化かも？**

「そらシリーズ」はなぜ多収なのか？（2）

「そらシリーズ」の4品種はいずれも

- ・細菌による**葉焼病**(はやけびょう)に対して
米国品種由来の**“抵抗性”**を有します
- ・莢がはじける性質である**裂莢性**(れっきょうせい)は**“難”**です



フクユタカ そらみずき そらみのり

葉焼病症状の比較



フクユタカ



そらみのり



フクユタカ



そらみずき

裂莢率の比較（60℃で3時間の熱風処理）

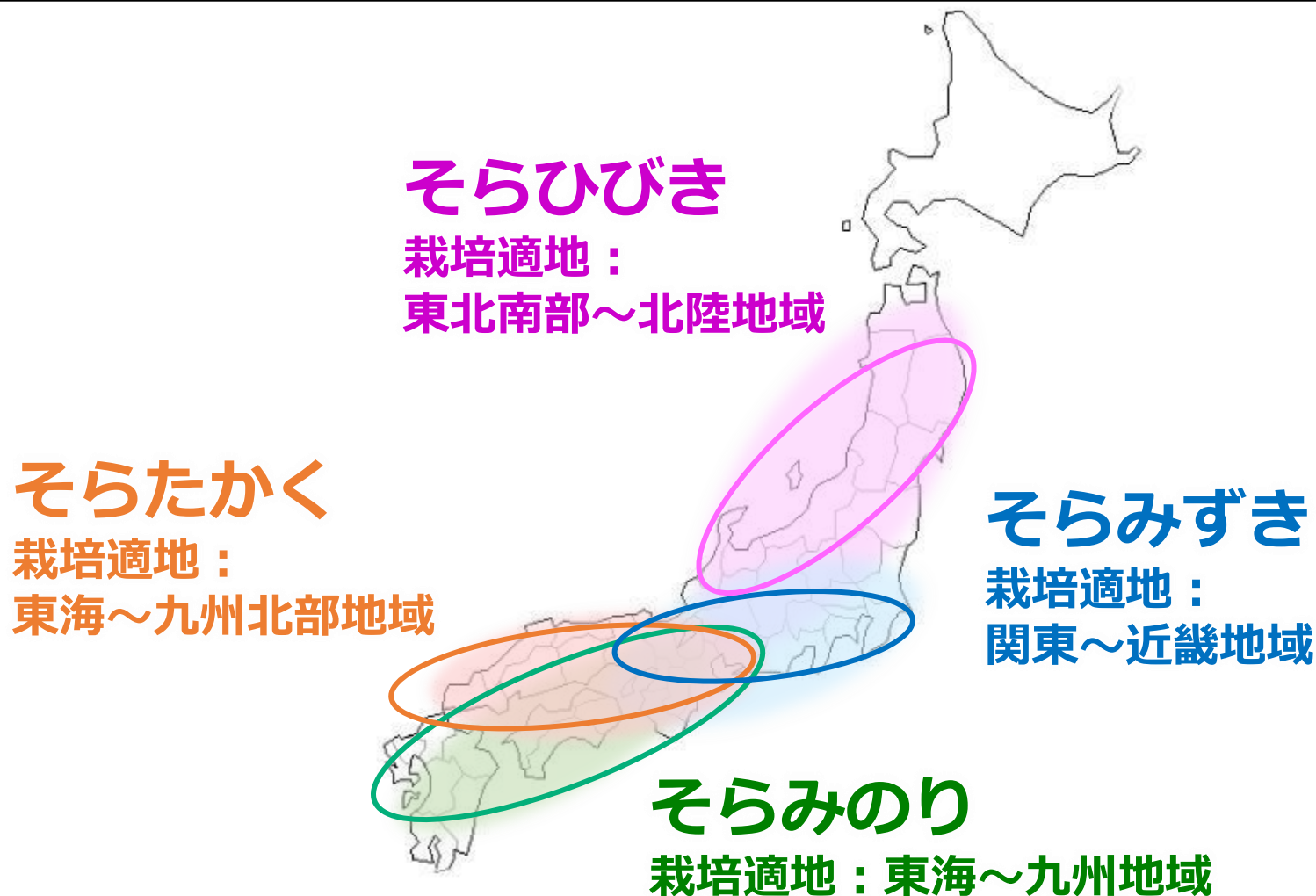
「そらシリーズ」の主な特性

品種名	熟期	耐倒伏性	裂莢性	葉焼病	SMV	粒大	粒形	へその色	タンパク含量
そらひびき	早生	強	難	強	弱	中～小粒	偏橢円	黄	やや低
そらみずき	中生	強	難	強	弱	中～小粒	球	淡褐	やや低
そらたかく	晩生	強	難	強	中	中～小粒	球	黄	やや低
そらみのり	極晩生	中	難	強	中	中粒	球	黄	中
(参考) サチユタカA1	中生	強	難	弱	中	大粒	球	黄	高
(参考) フクユタカ	晩生	弱	易	弱	中	中粒	球	淡褐	中

注) SMV: ダイズモザイクウイルス

「そらシリーズ」の栽培適地

「そらシリーズ」4品種で本州のほとんどの地域での栽培をカバーしています。



「そらシリーズ」の成熟期 草本比較

栽培地：香川県善通寺市（育成地）

撮影日：2025年11月21日

播種日：2025年6月19日



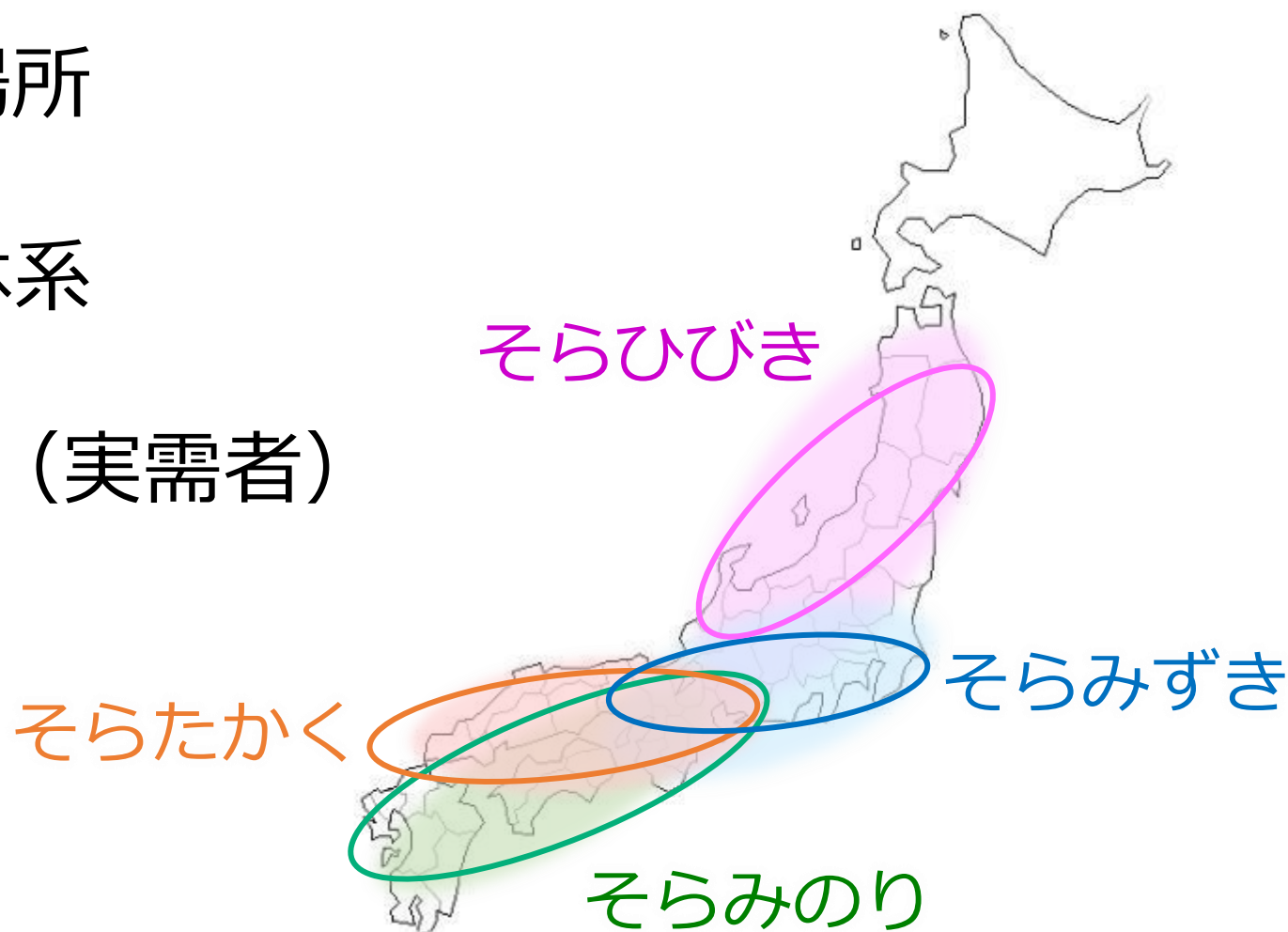
写真左から
そらひびき、そらみずき、そらたかく、そらみのり

播種日：2025年7月10日



「そらしシリーズ」の選び方

- 栽培場所
- 作付体系
- 売り先（実需者）



◎ 栽培暦は「フクユタカ」に準拠

【留意点】

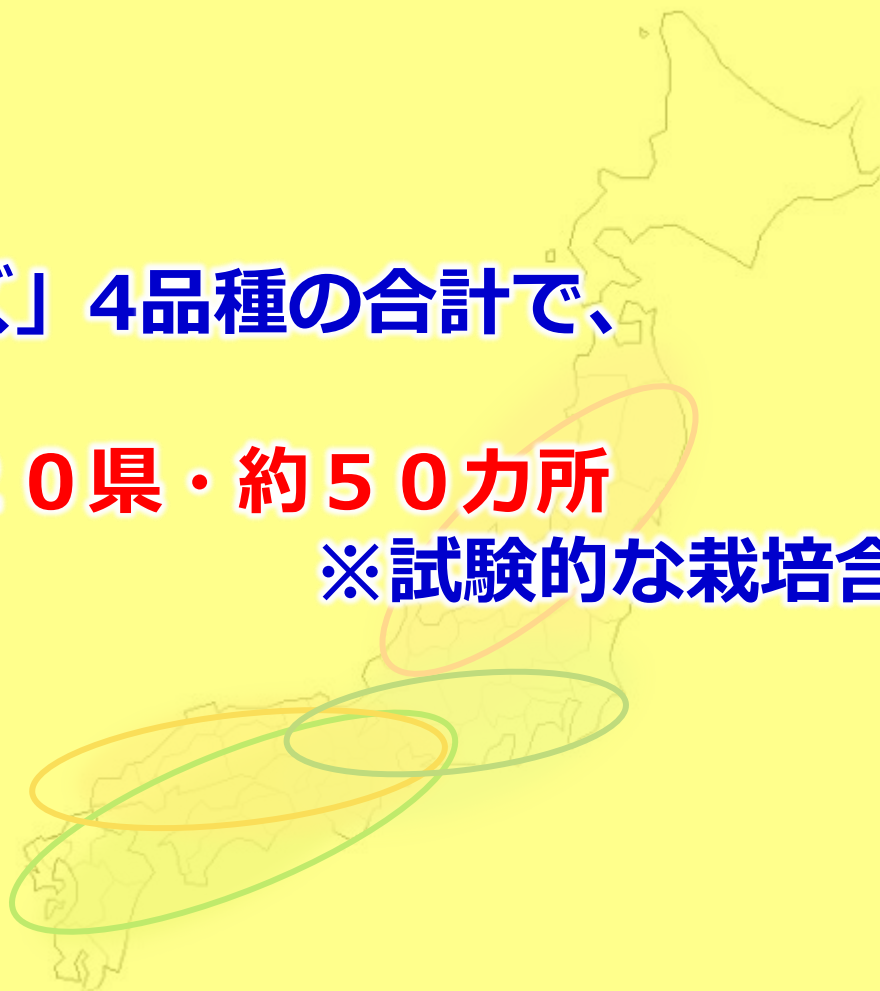
- 適正な播種量になるように播種機を調整する
 - ⇒ 種子が小さいので、播種量が過剰になりやすい
 - ⇒ 過繁茂、倒伏の原因となる
- (目安)
 - ・ 慣行（中耕培土あり）
10aあたり10,000株程度、播種量 3 kg程度
 - ・ 狭畦（中耕培土なし）
10aあたり15,000株程度、播種量 4 kg程度
- 莢が弾けにくい特性を持っているが、適期収穫を行う
 - ⇒ 種子品質の劣化を防ぐため
- 従来品種と粒大が異なるので、選別や乾燥調製時に留意する

「そらシリーズ」のR6年産栽培状況

「そらシリーズ」4品種の合計で、

東北～九州の20県・約50カ所

※試験的な栽培含む



ポスト「そらシリーズ」を目指して



第1世代
そらシリーズ



「そらシリーズ」は多収品種の第一歩！

高品質かつさらなる多収品種の育成を目指します。

* 本研究の一部は「国際競争力強化技術開発プロジェクト（農林水産省）」により実施しました。